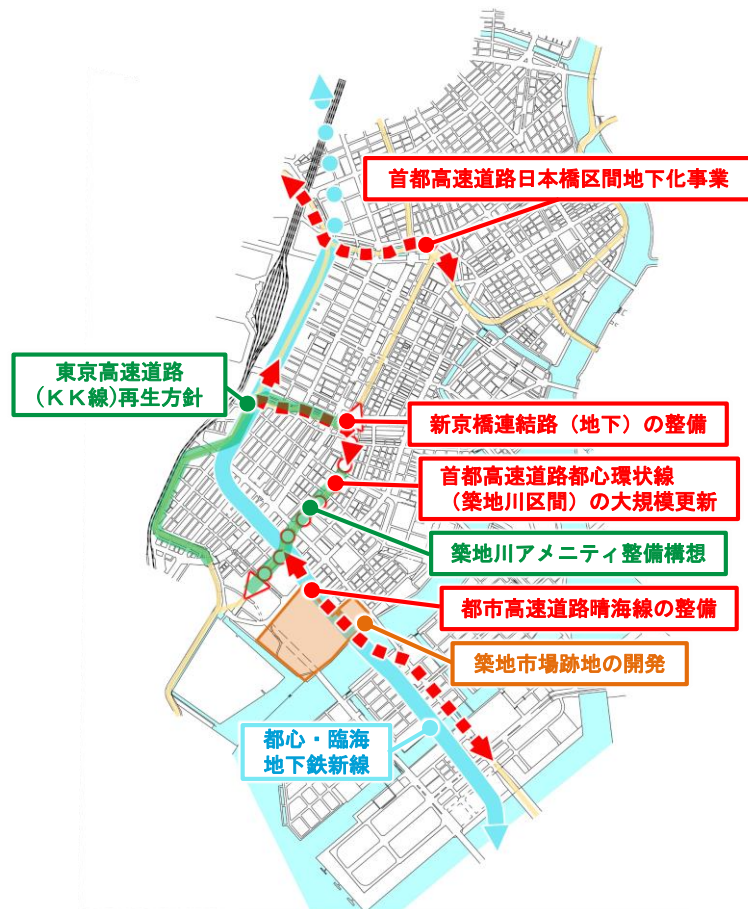


区内における都市基盤整備及び都市活性プロジェクトの動向について

☞ 区内で進められている都市基盤整備と都市活性プロジェクトの動向を報告する。

1 主な都市基盤整備の動向

(1) 主な都市基盤整備の一覧



高速道路ネットワークの整備

- ・首都高速道路日本橋区間地下化事業
- ・新京橋連結路(地下)の整備
- ・首都高速道路都心環状線(築地川区間)の大規模更新
- ・都市高速道路晴海線の整備

東京高速道路(KK線)再生方針

- ・東京の新たな価値や魅力を創出するため、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用

築地川アメニティ整備構想

- ・首都高速道路都心環状線(築地川区間)の上部空間を活用し、銀座と築地をつなぐ新たなアメニティ空間の創出

鉄道ネットワークの整備

- ・都心部(銀座・東京駅)と臨海部(晴海・有明方面)をつなぐ都心・臨海地下鉄新線の整備

築地市場跡地の開発における都市基盤整備

- ・舟運、バス、地下鉄などのインフラから成る広域交通結節点を戦略的に形成
- ・スーパー堤防や防潮堤の活用等により、水辺沿いの歩いて楽しい歩行者ネットワークを形成

1 主な都市基盤整備の動向

(2) 高速道路ネットワークの整備

首都高速道路日本橋区間地下化事業 ※事業中(2040年度完了予定)

- ・老朽化している首都高を地下化することにより、構造物の長期的な安全性を確保し、日本橋川周辺の沿道環境の改善を図る。
- ・都心環状線の機能を八重洲線に転換することにより、江戸橋ジャンクション周辺の交通の円滑化を図る。

新京橋連結路(地下)の整備 ※事業化に向けた手続き中(2035年度完了予定)

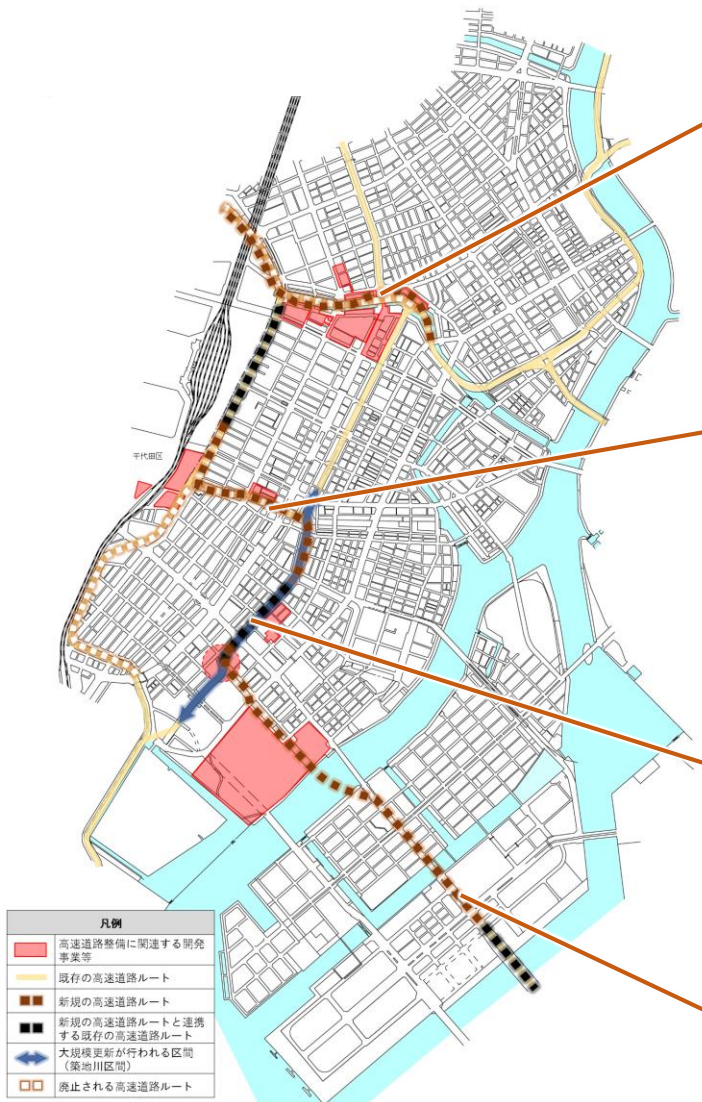
- ・首都高速道路日本橋区間地下化事業による江戸橋ジャンクションの都心環状線連結路の廃止に伴い、新たな都心環状ルートとなる新京橋連結路(地下)を整備
- ・東京高速道路(K K線)は、自動車専用の道路としての役割が大きく低下することから、上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用
全区間の整備完了については、2030年代から2040年代を目標
(東京高速道路(K K線)再生方針)

首都高速道路都心環状線(築地川区間)

- ・経年劣化した擁壁の取替えなどを行う大規模更新を予定
- ・急カーブの解消や道路上部空間の活用など、周辺のまちづくりと連携した更新計画が検討されている。
- ・築地川区間の大規模更新に合わせて、高速道路上部空間を活用し、新たなアメニティ空間を創出(築地川アメニティ整備構想)

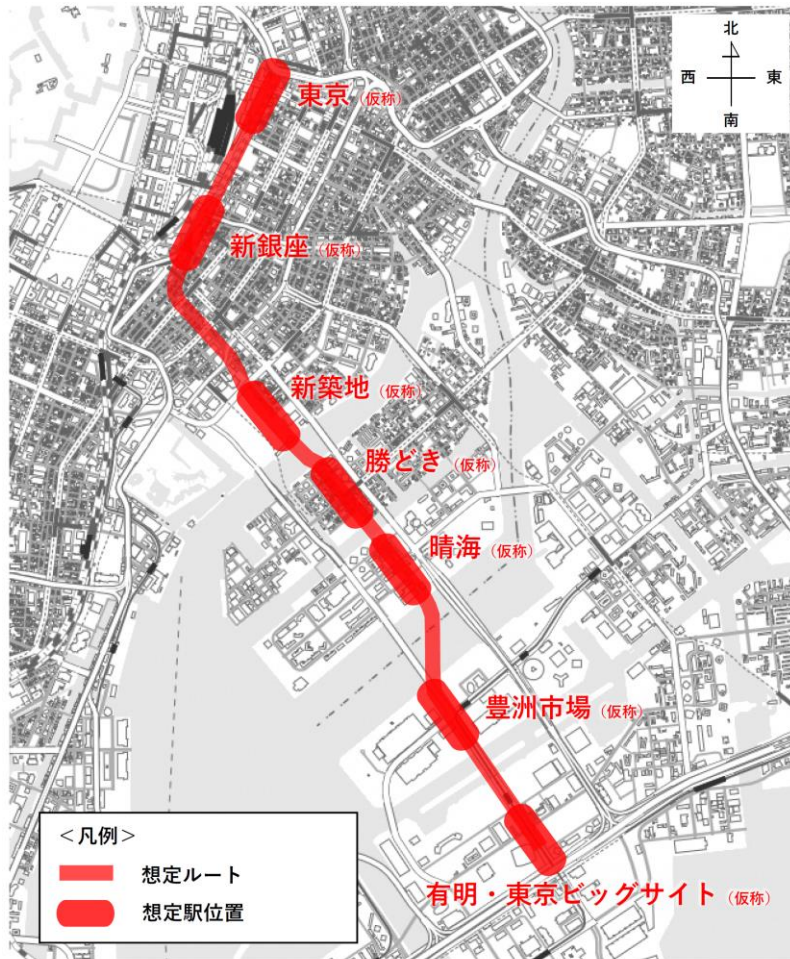
都市高速道路晴海線(未着手区間)

- ・新京橋連結路(地下)と連続したネットワークを形成することで、高い整備効果が見込まれる
- ・築地川区間への接続形態や出入口の位置等について見直し予定



1 主な都市基盤整備の動向

(3) 鉄道ネットワークの整備



出典：国土地理院地図に加筆

出典：都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画
検討会 事業計画案(令和4年11月東京都)

都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画検討会 事業計画案 (令和4年11月 東京都)

- ・ 東京ベイeSGまちづくり戦略2022(令和4年3月)において、本路線は、「区部中心部と開発が進む臨海地域とをつなぐ基幹的な交通基盤、言わば背骨としての役割」が期待されている。
- ・ 「大いなるポテンシャルを有するベイエリアの鉄道網を充実させ、東京を持続可能な都市にし、日本の成長を確かなものとしていく上で重要」な路線として、「区分 B：2040 年までの実現を目指す取組（取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。）」に位置付けられている。
- ・ 国際競争力強化の拠点であるつくば国際戦略総合特区と臨海部との対流促進が図れるとともに、事業性の向上も見込まれるため、常磐新線(TX)延伸との接続を今後検討
- ・ 臨海部や首都圏の国際競争力をより強化するため、羽田空港への接続を今後検討

都の動き

- ・ 令和6年 2月 事業計画の検討について「鉄道・運輸機構」、
「東京臨海高速鉄道」と3者で合意したことを公表

区の動き

- ・ 検討調査：駅周辺のまちづくりと連携した歩行者ネットワークに関してさらなる深度化を図るため、ビッグデータの活用による検討調査などを行い、区の間取り方を取りまとめていく。
- ・ 推進大会：地下鉄新線の早期実現を目指し、地域の方々と共に行動し機運を高めるため、推進大会を行っていく。

1 主な都市基盤整備の動向

(4) 築地市場跡地の開発における都市基盤整備



出典：事業予定者の提案概要（令和6年4月東京都）

提案概要

事業予定者：ONE PARK × ONE TOWN

【施設等の概要】

- 主要建物 マルチスタジアムを含む9棟
- 計画のポイント
 - ・ 5万人収容のマルチスタジアムを中心に、健康長寿社会に向けた機能を導入し、東京の国際競争力を強化
 - ・ 築地の歴史と特性を生かした観光都市としての東京の魅力を向上
 - ・ 合計約10万㎡の都内有数のオープンスペースを整備
 - ・ 陸・海・空のモビリティが乗り入れ可能な広域交通結節点を整備し、築地場外市場と連動したにぎわいと交流を促進
 - ・ 多様な環境配慮の取り組み＜緑化（緑被率約40%）など＞

出典：東京都が募集する「築地地区まちづくり事業」の事業予定者に選定（令和6年4月三井不動産(株)、トヨタ不動産(株)、(株)読売新聞グループ本社）から抜粋

築地市場跡地開発の動き

- ・ 令和6年4月 事業予定者の決定
- ・ 令和6年度末 都と事業予定者による基本協定の締結
- ・ 令和7年度 先行にぎわい施設の着工
- ・ 令和8年度末 定期借地権設定契約の締結
- ・ 令和14年度 第一期建築工事の完了
- ・ 令和20年度 第二期建築工事の完了

区の動き

- ・ 令和5年10月 「築地市場跡地開発に関連する区の考え」を取りまとめ
- ・ 令和5年11月 「都市基盤整備に関する要望書」を都知事宛て提出
- ・ 令和6年 4月 「築地市場跡地開発に関連する要望書」を事業予定者宛て提出
- ・ 令和6年度末 要望事項について事業予定者と協定等を締結予定

2 主な都市活性プロジェクトの動向

(1) 都市活性プロジェクトの概要

○都市基盤の整備とまちづくりとが連携するプロジェクト

○ソフト・ハード両面から総合調整することにより、地域の商工観光の振興、防災力の強化、地域コミュニティの醸成をはじめとしたさまざまな施策を推進



主な都市活性プロジェクト

● : 主な都市活性プロジェクト

◄...► : 首都高速道路等の整備

- ・首都高速道路日本橋区間の地下化
- ・新京橋連結路(地下)の整備
- ・首都高速道路都心環状線(築地川区間)の大規模更新
- ・都市高速道路晴海線の整備 など

● : 八重洲バスターミナルの整備

◄==> : 都心・臨海地下鉄新線の整備

◄...► : 東京高速道路(KK線)再生方針
築地川アメニティ整備構想

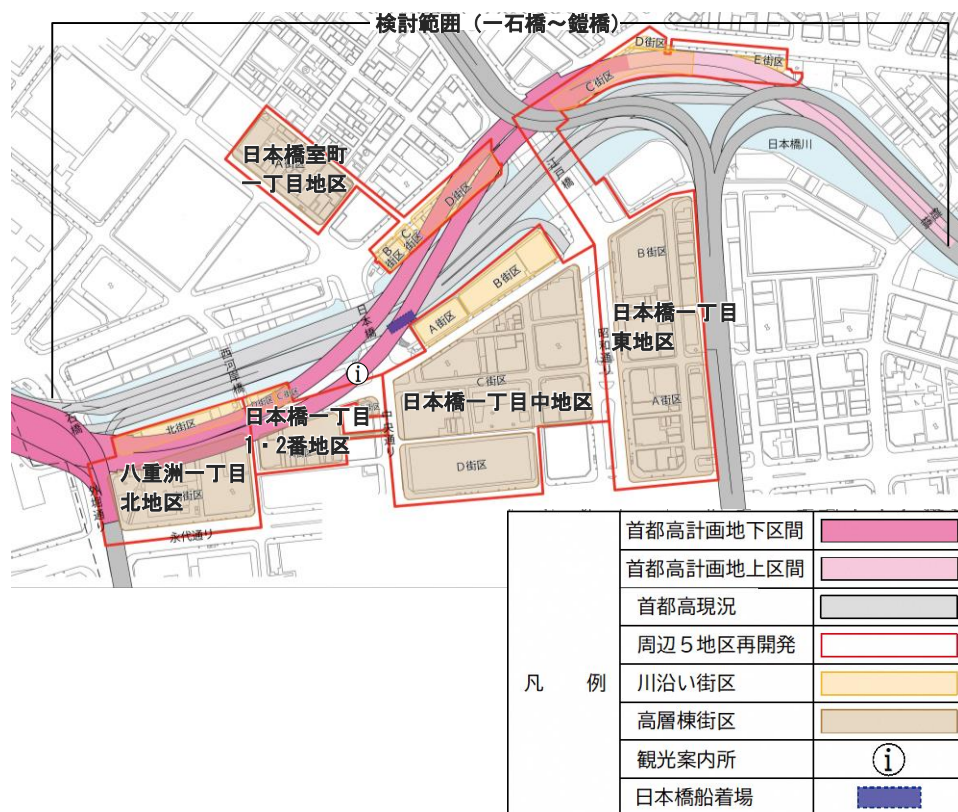
2 主な都市活性プロジェクトの動向

(2) 日本橋川沿いエリア

- 5 地区の市街地再開発事業や首都高速道路日本橋区間地下化事業が具体化し、様々な事業が連続的かつ長期的に進行
- 「日本橋川水辺空間の整備推進に関する連絡会」を設置し、魅力的で一体的な水辺空間の整備推進に向けた検討を行っている。

日本橋川水辺空間の整備推進に関する連絡会(令和4年5月30日設置)

■ 対象事業と検討範囲



構成員

- ・ 住民代表、地域団体、関係事業者、河川管理者等関係行政機関、中央区

主な関連事業

- ・ 日本橋川沿いにおける 5 地区の市街地再開発事業
- ・ 首都高速道路日本橋区間地下化事業
- ・ 河川関連事業(護岸、船着場、プロムナード等整備)

令和5年度の主な取組内容・動向

- ・ 全 3 回(令和5年9月、12月、令和6年3月)実施
- ・ 「首都高高架橋撤去後の日本橋川水辺空間の将来イメージ」の取りまとめ
- ・ 3D都市モデルによる、日本橋川周辺のまちの状況の共有及びにぎわい方策の検討

今後の取組

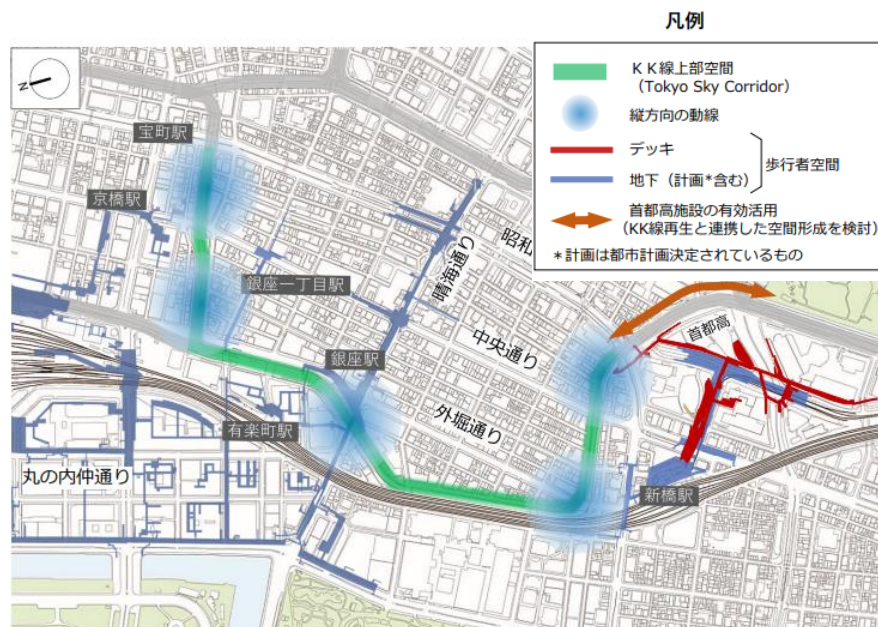
- ・ 引き続き、工事状況等の共有を図りつつ、工事期間中のにぎわいづくりや、将来イメージの実現に向けた魅力的で一体的な水辺空間の創出について関係者で検討・共有

2 主な都市活性プロジェクトの動向

(4) K K線再生エリア

- 銀座・築地周辺を結ぶみどりのプロムナードの創出と広域的な歩行者中心の水とみどりのネットワークの形成を目指し
本区では「銀座・築地周辺みどりのプロムナード構想」(令和3年7月)を策定
- 東京都は、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用することとして、「東京高速道路（K K線）再生方針」(令和3年3月)を策定

KK線再生エリアにおける歩行者ネットワーク強化やにぎわい創出に向けた取組



※この地図は、国土地理院発行の基礎地図情報を使用したものである。
※主要な歩行者ネットワーク(地下・デッキ)はBizXaaSMap、及びMarunouchi.comを参考に三菱地所設計作成

歩行者系ネットワークのイメージ

出典：「東京高速道路(K K線)再生の事業化に向けた方針」
(令和5年3月東京都)

主な関連事業

- ・ 東京高速道路(K K線)再生方針
- ・ 周辺の市街地再開発事業

令和5年度の主な取組内容・動向

- ・ KK線の上部空間を歩けるイベントとして「銀スカ (GINZA SKY WALK)」を実施 (令和5年5月・都)
- ・ 歩行者ネットワークの強化やにぎわい創出について、周辺のまちとの連携が図られるよう、地元、東京都や東京高速道路株式会社などの関係者間の調整を行った。

今後の取組

- ・ 引き続き、周辺エリアの活性化に向けて、地元、周辺開発事業、東京都や東京高速道路株式会社などの関係者間の調整を行っていく。

2 主な都市活性プロジェクトの動向

(5) 築地・東銀座エリア

- 都心・臨海地下鉄新線や都市高速道路晴海線など、複数の都市基盤整備や築地市場跡地開発等の開発事業が進行中
- 令和6年4月19日に、築地市場跡地開発の事業予定者が決定、4月26日に「築地市場跡地開発に関連する要望書」を提出

都市基盤整備や開発事業等を踏まえた魅力あるまちづくりに関する検討

主な関連事業

- ・ 築地川アメニティ整備構想 ・ 東京高速道路(KK線)再生方針
- ・ 都心・臨海地下鉄新線の整備 ・ 都市高速道路晴海線の整備
- ・ 築地市場跡地開発等の開発事業

令和5年度の主な取組内容・動向

- ・ 「築地市場跡地開発に関連する区への考え」を取りまとめ（令和5年10月）
- ・ 「都市基盤整備に関する要望書」を都知事宛て提出（令和5年11月）
- ・ 築地川アメニティ整備構想の実現に向け、覆蓋化に関連する概略設計等(三吉橋～祝橋)

今後の取組

- ・ 築地市場跡地開発の事業予定者と、要望事項の実現に向けた協議・調整を行い、協定等の締結を行っていく。
※要望事項 ①築地・東銀座エリアにおける一体的なまちづくりの推進について
②跡地開発について
③区有地施設の再編等との連携について
④地元配慮した事業の進め方
- ・ 築地川アメニティ整備構想の実現に向け、覆蓋化に関連する概略設計を踏まえ、詳細設計等を行っていく。



2 主な都市活性プロジェクトの動向

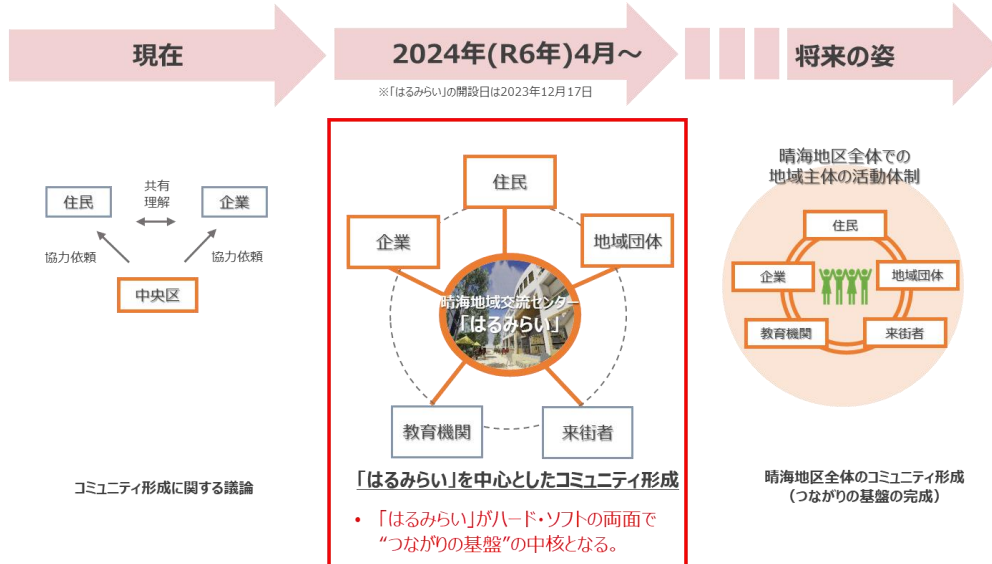
(6) 晴海エリア

○東京2020大会選手村の再整備により、令和6年1月から入居が始まるとともに、同年4月には晴海西小・中学校や特別出張所が開設し、まちびらきを契機としたハード・ソフト両面の取組を晴海地区全体で行っている。

晴海地区のにぎわい形成に向けた検討

令和5年度の主な取組内容

- 晴海コミュニティ構想検討会議（令和2年9月～令和6年2月）
- ・晴海地区のコミュニティのあり方を議論し、晴海コミュニティの将来像を「必要な時に伸縮自在に結束し、地域の課題解決を図ることができるコミュニティ」と取りまとめた。



晴海地区全体のコミュニティ形成に向けたロードマップ

※「晴海コミュニティ構想検討会議の取りまとめ」抜粋

今後の取組

- ・都心・臨海地下鉄新線の事業化を見据えた、都有地も活用したまちづくりを検討していくなど、関係者との協議・調整を進めていく。
- ・特に、今後の人口増加に対応していくため、2、3、4丁目において、教育・生活利便機能の充実や歩行者デッキ整備等による交通環境改善に取り組んでいく。



<凡例>

- : 想定ルート (東京都事業計画案より抜粋)
- : 想定駅位置 (東京都事業計画案より抜粋)
- ⇄ : 歩行者ネットワークのイメージ
- : 歩行者ネットワークとの連携が考えられる開発

【都心・臨海地下鉄新線】駅周辺の歩行者ネットワーク

出典：「令和5年度地下鉄新線検討調査報告書 概要版」